

2008 年度後期自治委員会総会特別決議

大阪府立大学中百舌鳥キャンパス学生自治会中央執行委員会

【議決案件】

全日本学生自治会総連合への加盟について、非加盟とする。

【議決趣旨】

全日本学生自治会総連合（以下、全学連）は全国の学生の交流と学生が抱えている要望の実現を目指し活動している団体です。前身である自治会連合の廃止に伴い、4年前に中百舌鳥キャンパス学生自治会（以下、学生自治会）が発足しました。学生自治会の発足に伴い、改めて全学連に加盟するか否かを決定する際には、全学連についての情報発信を十分に行った上で学生から意見を集めて検討する必要があると考え、これまで全学連への加盟を保留してきました。

これまで学生自治会は全学連の活動に参加し、全学連についての情報発信としてその内容を自治会総合情報誌『NASCA』にて報告してきました。加えて『全学連白書』、『全学連白書 vol.2』を作成し、中百舌鳥キャンパスの全学生に配布しました。また、『全学連白書 vol.2』と『NASCA vol.15 ～2008 年度前期自治委員会総会報告号～』の配布の際にアンケートを実施し、学生から全学連への加盟について意見を集めました。

アンケートには「全国とは一線はなれた独自性を見出してほしい」、「方針の違う活動に加盟費が使われるかもしれないというのは不安」といった、全学連への加盟に反対する意見が多く寄せられました。また来年度からりんくうキャンパスが開設され、りんくうキャンパスでの獣医学科の学生に対する活動も現在検討しています。そのため、全国的な活動を検討するよりも、大阪府立大学に密着した活動が必要と考えます。加えて、アンケートには「全国の学生自治会で力を合わせて解決した方がいい」といった意見も寄せられましたが、全学連が行うアンケートは一部の大学でしか実施されておらず、全国の学生の声を十分に集めているとは言い難い状態です。

以上のことを考慮し、これまで検討していた全学連への加盟について、非加盟とします。